Belzona® 4301

(マグマＣＲ１ハイビルド)

BELZONA®
Repair • Protect • Improve

取 扱 説 明 書

1. 表面処理

確実な接着のためには、汚れ･遊離物の除去、素地の目粗し、乾燥･安定などの処理を確実に行うことが大変重要です。

① コンクリート面

1　古いコンクリートの場合は、まず付着した油分、グリース、塵などを適切な洗浄剤で洗い流します。残存する旧塗料、表面の遊離物などを除去します。

　新設コンクリートの場合は、28日以上養生させるか、含水率測定値が6%以下になるまで養生させてください。

2　ブラストまたはグラインダー等の工具でレイタンス (脆弱な泥膜層) の除去と目粗しを行います。発生する塵は吸引除去してください。

注意：コンクリートなどの多孔質な表面に対しては、コンディショニングが必要です (「***2. コンディショニング***」参照) 。

② 金属面

1　まず遊離性のサビや汚れなどを除去した後、Belzona 9111 (脱脂クリーナー) または残留物を残さない洗浄剤 (メチルエチルケトン等) を浸した布で、表面をよく拭き脱脂します。

2　下記いずれかの清浄度に達するまでブラストを行います。

　ISO 8501-1 (または SIS 05 5900) : Sa2.5
　SSPC (米国規格) : SP10、ニアホワイトメタル

　研磨材には鋭角なグリットを使用してください。
　表面粗さ 75 µm 以上に加え、上記いずれかの清浄度を達成可能な研磨材を選択する必要があります。

3　ブラスト後は、金属面が酸化する前に製品の塗布を行ってください。

③ ガラス面

グリットブラストなどの適切な方法で表面に目粗しを施した後、脱脂洗浄を行ってください。

Belzona 4301を接着させたくない箇所には

Belzona 9411 (離型剤) をハケで薄く塗り、15～20分ほど乾燥させた後、製品の塗布を行ってください。多孔質な母材表面に対しては、セラックニスまたはセルロースラッカーなどで目止めを行った後に、離型剤を塗布してください。

2. コンディショニング

対象表面が多孔質である場合は、Belzona 4911 (マグマTXコンディショナー) によるコンディショニングを行います。

Belzona 4911の混合比

	ベース ： 硬化剤
容量比	2 ： 1
重量比	2.2 ： 1

混合比に従い適量のベースと硬化剤をカップ内に取り出し、均一な状態になるまで混合します。

混合したコンディショナーを対象表面に塗布します。450 g あたり1.1 m² 以下の塗布面積を目安に、ハケで素早く塗布してください。

可使時間内にコンディショニングを行い、マグマの塗布へと進んでください。コンディショナーの塗布から6時間が経過した場合は、再度目粗しとコンディショニングを行ってください。

温度	4911の可使時間	マグマの塗布	
		最短	最長
5°C	230分	コンディショナー塗布直後から	6時間
10°C	105分		6時間
15°C	55分		6時間
20°C	45分		6時間
25°C	32分		6時間

3. 混合

容量

1 kg	720 cm³

混合比

必要量のみ使用する場合の混合比は以下の通りです。

	ベース ： 硬化剤
容量比	3 ： 1
重量比	3.22 ： 1

混合比に従い適量のベースと硬化剤をボード上に取り出し、色むらの無い均一な状態になるまで混合します。

低温時の混合

材料温度が5°Cを下回ると、混合が困難になります。
20～25°Cまでベースと硬化剤を容器ごと温めることで、混合が容易になります。

可使時間

混合開始から以下の時間内に使用を終えてください。

温度	15°C	25°C	30°C
可使時間	35分	25分	15分

Publication No. 18-04-13 J

4. 塗布

最良の結果を得るために、以下の場合は塗布を行わないでください。

- 周囲温度および母材温度が 15°C 以下の場合。
- 周囲湿度が 90%以上の場合。
- 雨、雪、霧、もや等がある場合。
- 金属面が濡れている場合や、結露が起こりやすい場合。
- 周辺機器からの油分やグリース、石油ヒーターの煙、タバコの煙などによる汚染がある場合。

1 アプリケーターを用いて、製品を下地処理された対象表面に塗布します

2 極力内部に空気が残らず、製品と母材の接触面積が最大となるよう、製品を強く押し込みます。

3 アプリケーターを用いて、平滑な表面に仕上げます。

温度条件

塗布時は、周囲温度が15～30°Cであることが推奨されます。15°C以下では、製品が硬くなるため混合と塗布が困難になります。30°C以上では、製品が軟化して液状化するため塗布厚の調整が困難になる上に、可使時間が極端に短縮してしまいます。

また15°C以下では硬化が抑制されてしまうため、加熱器を用いた適切な硬化養生を行うことが推奨されます。

施工具の洗浄

使用後すぐに洗浄を行い、付着した製品を除去してください。混合に使用した道具は、Belzona 9111 (脱脂クリーナー) またはメチルエチルケトン等の適切な洗浄剤で拭き取ってください。塗布に使用した道具は、Belzona 9121 (ユニバーサルシンナー) またはメチルエチルケトン、アセトン、セルロースシンナー等の適切な溶剤で洗浄してください。

5. 硬化時間

Belzona 4301が各状況下で耐用可能になるまでの目安時間です。下表を参考に適宜充分な硬化養成を行ってください。

温度	軽歩行	軽荷重	全耐薬品性
15°C	16時間	48時間	14日
20°C	12時間	36時間	7日
25°C	8時間	24時間	6日
30°C	6時間	20時間	5日

注意：15°C以下では硬化時間が極端に長くなる上に、最終的な耐薬品性が低下します。

6. 重ね塗り

Belzona 4301の上に、Belzona 4301またはBelzona 4111の重ね塗りを行う場合、前層塗布から4時間以内であれば表面処理は不要です。上記時間を経過した場合、硬化した前層表面に適切な目粗しを施した後、重ね塗りを行ってください。

7. ポストキュア

Belzona 4301、またはBelzona 4301とBelzona 4311の組合せに対してポストキュアを行う場合は、まず20°Cで12時間以上の硬化養生を行います。その後、80°Cで4時間の加熱を行ってください。これにより最適な耐薬品性を発揮します。

現地代理店

健康と安全のために

製品安全データシートをよく読み、使用条件を確認した上でお取扱いください。
※製品安全データシートは現地代理店までご請求ください。

The technical data contained herein is based on the results of long term tests carried out in our laboratories and to the best of our knowledge is true and accurate on the date of publication. It is however subject to change without prior notice and the user should contact Belzona to verify the technical data is correct before specifying or ordering. No guarantee of accuracy is given or implied. We assume no responsibility for rates of coverage, performance or injury resulting from use. Liability, if any, is limited to the replacement of products. No other warranty or guarantee of any kind is made by Belzona, express or implied, whether statutory, by operation of law or otherwise, including merchantability or fitness for a particular purpose.

Nothing in the foregoing statement shall exclude or limit any liability of Belzona to the extent such liability cannot by law be excluded or limited.

Copyright © 2013 Belzona International Limited. Belzona® is a registered trademark.

ISO 9001:2008
Q 09335
ISO 14001:2004
EMS 509612

国際標準規格ISO 9000に準拠する品質管理基準に基づき製造されています。

BELZONA®
Repair • Protect • Improve

Printed in England Publication No. 18-04-13 J